

質 問	回 答	回答者
事前アンケートより 何社受けて何社受かりましたか？	大学男子 1社→1社(税理士法人／事務職) 大学男子 3社→3社(製造、卸・小売／営業職) 大学女子 14社→2社(金融、製造／事務職) 大学女子 15社→3社(金融、製造／事務職) 短大女子 1社→1社(ホテル／サービス職) 短大女子 6社→2社(製造／事務職、医療／総合職)	学生
事前アンケートより 平均何社くらい受けているのですか？	本学では統計を出しておりませんが、本日のパネラー学生の受験企業数平均は6.7社となっています。	スタッフ
事前アンケートより どのようなスケジュールで就活を始めましたか？	【大学生】(全員共通) ・3年生の夏頃からインターンシップや説明会、セミナーに参加。3月から合同企業説明会及び個別企業説明会に参加、随時選考開始。 【短大生】 ・短大ではインターンシップが必修科目になっており、1年夏に医療機関で実習を行った。1年の3月から合同企業説明会及び個別企業説明会に参加し、本格的に就活を開始。6月には内定が出るようスケジュールを立てた。 ・1年の2月～3月末まで長期インターンシップ(ホテル)の実習をしていたため、気になる企業にエントリーだけはしておき、4月から説明会に参加した。	学生
事前アンケートより 長野県(地元)就職の場合、どのような流れになるのでしょうか。	長野県に限らずUターン就職をする場合、スケジュールについて特に違いはありません。現在の就職活動はインターネットによる情報収集が中心となります。本学では就職サイトに加え、就活を支援する県や新聞社等を紹介しています(毎年卒業年次生の出身県をまとめ各県の情報を周知)。また隣接県にはスタッフが直接情報収集に出向くほか、ハローワークのオンライン情報提供端末をキャリアサポート室に設置しており、全国の求人情報が検索可能です。さらに各県の求人ジャーナルも毎週取り寄せていますので、群馬にいながら他県の求人情報をいつでも閲覧できます。	スタッフ
事前アンケートより 長野県の就職実績状況が知りたいです。	実績は多岐にわたっています。学生個々の学んできた強みや興味、関心に基づいて選択しているようですが、Uターン就職を希望する学生や地元志向の強い学生は県外への転勤がない(可能性が低い)企業を希望する傾向があります。カーディーラーのような都道府県や地域ごとに別会社になっている販売代理店、地域密着の信用金庫やJA、医療機関、地域の特性を活かす観光産業や冠婚葬祭業、その他には大手企業の工場での現地採用などもあります。	スタッフ
事前アンケートより 就活中、どんな点に注意しましたか？	大学男子 「まわりに影響されない。新聞を読む。」 大学男子 「興味のない企業の話を聴く。合説やキャリアサポート室が行う講座、就活生との交流などを通じて、モチベーションを維持するよう心掛けた。」 大学女子 「とにかく早く就活が終わるよう、数を沢山受けた。」 大学女子 「スケジュール管理の徹底、時間に余裕を持って行動する、大企業から中小零細企業まで、会社の規模や業界業種、業務内容まで幅広く調べ、視野を狭めないようにした。」 短大女子 「この会社で働きたい！という熱意を伝えること、笑顔でハキハキして自信を持つこと。」 短大女子 「10分前行動、言葉遣いや身だしなみ、明るい笑顔などを忘れないこと。」	学生

事前アンケートより 学生時代に最も打ち込んだことを意識して学生生活を送っていましたか？	【意識していた】 大学男子 「サークル運営、被災地支援、団体加入と積極的に活動した。ゼミ選択の際はこの項目でアピールできそうな活動をしているゼミを選んだ。」 大学男子 「森ゼミという就活ゼミに入り、コミュニケーション能力やプレゼン能力をひたすら鍛え上げた。」 短大女子 「短大生活は短いので、ゼミ活動においてチームリーダーを務めるなど、とにかく積極的に行動することを意識した。」 短大女子 「3.5本の矢プロジェクト(企業連携)に参加して様々な経験を積んだ。」 【意識していなかった】 大学女子 「ほとんど意識しないまま学生生活を送っていたが、3年の半ば頃になってこれではまずいと思い、一度だけボランティアに参加した。」 大学女子 「全く意識していなかったが、結果何とかなったと今は思う。もちろん意識して行動を起こすことに越したことはないが、サークル活動やゼミ活動、普段の生活の中でもやってきたことは語れると思う。」	学生
事前アンケートより ボランティアなどには積極的に参加した方が良いでしょうか？	【参加しなくても良い】 大学男子 「就活のためだけに参加するのは先方にも失礼なので、それだけの理由なら参加しない方が良いと思う。」 【どちらともいえない】 大学女子 「明確な目的があれば参加した方が良いが、ただ数回何となく、というくらいでは面接で活かせるほど得られるものはないと思うので、就活のためであればあまり意味はないと思う。」 【参加した方が良い】 大学女子 「自己PRや学生時代に打ち込んだことなど、面接や履歴書のネタになるため、参加した方が良いと思う。ボランティアに参加したり地元のイベントに参加・協賛している企業もあるため、ボランティア経験は好印象に捉えられることが多いと感じる。」 短大女子 「参加するに越したことはない。様々なことに挑戦することは新しい発見があるので良いと思う。」 短大女子 「参加することで自分の実力はどれくらいあるのか試すことができ、自分に足りない点を発見できたり自信がついたりするから。」	学生
事前アンケートより 資格を持っている学生がどのような就職先に行っているのか？	その資格がないと業務に携われない(本学の例ですと公認会計士や教員免許)ものについては当然その資格が必要な就職先を希望し、多くの学生がその職についています。 それ以外の資格については客観的な能力の証明と考えていただければと思います。そして学生の能力は所有する資格だけでなく、他にもたくさんあります。資格も含めて自身の持つ様々な能力を活かす進路を探していますので、一概には言えない状況です。 また業界特有の必要資格(銀行業務検定、宅地建物取引士、基本情報技術者、危険物取扱者等)は入社後に就業先の支援で取得する場合が多く、採用試験ではそのポテンシャルを重視する傾向が見られます。	スタッフ
事前アンケートより 面接での受け答えについて、どんな点に注意しましたか？	大学男子 「嘘はつかない。全て正直に受け答えをした。」 大学女子 「明るい声で話すこと。目線を泳がせないこと。嘘(作り話)や話を過剰に盛り過ぎないこと。知ったかぶらず、正直に話すこと。」 短大女子 「笑顔でハキハキと、自信を持って話す。」 短大女子 「話す時は相手の目を見る。背筋を伸ばす。聞かれたことに的確に答えるようにする。結論から先に話すようにする。」	学生
面接で多かった質問は？	大学女子 「自己PR、長所と短所について、学生時代に打ち込んだこと、アルバイトやサークルの経験、ゼミについて、今までの失敗談やそこから得た教訓、逆質問。」 短大女子 「志望動機、自己PR、医療コースに在籍しているのになぜ病院を受けなかったのか？」	学生

面接で困った質問は？	大学男子 「あなたと他の人の意見が衝突した時、どうやって解決しますか？」 大学女子 「これまでの人生で一番感動したこと、企業選びの基準、10年後どうなっていたいか」 大学女子 「弊社は第一志望か？親、祖父母、先生から教わったことで心に残っていることは？トラックを売ってこい！と言われたらどう思うか（事務希望だが営業の仕事をしろと言われたらどう思うか）？」 短大女子 「小学校からの話をきかれた」	学生
事前アンケートより 第一志望でない企業に第一志望ですかと聞かれた場合の返答は？	企業様には大変申し訳ないのですが、この質問には「第一志望です」と回答するよう指導をしています。ですが企業様においても今の学生の就活状況をご理解いただいていると感じています。実際に質問の仕方も「他にどういった業界を受けているのか？」等工夫され、学生の考えを引き出しているように思います。	教員
事前アンケートより 内定が取れない事に対して第一要因だと個人的に思われることは何でしょうか？	大学男子「勉強不足（筆記試験対策、企業研究が足りていない）。」 大学女子「内容が曖昧。」 短大女子「企業が求めている人材と自分がミスマッチを起こしている。」	学生
事前アンケートより 就職の推薦枠というものはあるのですか。	この企業から毎年〇人のような入試でいう指定校のような枠はありません。大手企業の現地採用などでは学校推薦での応募がありますが、採用が保証されるようなものではなく企業側が選考対象者を絞り込みたいということのようです（お声がかかるのは学校が信用されているからとは思いますが）。 近年では内定後の辞退を制限する目的で推薦書（推薦の場合原則辞退できません）を求める場合もあります。	スタッフ
事前アンケートより インターンシップには参加しましたか。参加した場合はいつ、何社ほど参加しましたか。インターンシップに参加した企業の選考を受けましたか。	★全員インターンシップに参加経験あり（短大生は必修科目として参加） 大学男子 「3年の8月から10社くらい。」→「1社受験し内定」 大学男子 「3年の8月にキャリアサポート室が企画している『弟子入りラーニング』に参加。1月にも1社参加したので、計2社参加した。」→「1社受験し内定」 大学女子 「3年の夏から秋にかけて3社参加。」→「1社のみ受験」 短大女子 「1年後期2/4～3/23まで長期インターンシップに参加。」→「このインターンシップ先からまだ解禁されていない求人を紹介していただき、受験。内定をいただいた。」 短大女子 「1年の8月中旬に高崎市内の病院へ2週間実習を行った。」→「受験はしなかった」	学生
事前アンケートより インターンシップへの参加が就活にどのような影響を与えましたか。	大学男子 「『弟子入りラーニング』は営業の方に1日同行して仕事を見させていただく形のインターンシップだが、これに参加して営業職のイメージがよい意味で変わった。またインターンシップに参加したことで自分が本当に興味のある業界がわかった。インターンシップに参加した流れからそのまま選考に進み、早い時期に内定を得られたことが安心感や自信につながった。」 大学女子 「実際に業務を体験したり、会社の雰囲気を感じることで、この会社で自分はやっていけるか、このような仕事を自分はやりたいのか、続けられそうかを知ることが出来た。」 短大女子 「インターンシップを通して培った学びや経験、やりがいや視野を広く持つことなど、就職したいと思う業界を選ぶ際に大変参考になった。」	学生

インターンシップには参加した方が良いと思いますか？	大学男子 「参加した方が良い。参加することによって選考を有利に進められることもあるし、内定時期も早くなる。早い時期の内定はその後の就活にも好影響を与えるから。」 短大女子 「参加した方が良い。学校では絶対に学べない生の現場を知ることができるし、自分の想像とのギャップを社会人として働く前に知れるから。」 短大女子 「参加した方が良い。この業界は自分に向いているか判断する材料になるし、職場の雰囲気ややりがいなど就職先を選ぶ際に参考になるから。」	学生
出欠確認ハガキより 就活期間中、保護者にしてもらいたいサポートは何ですか？	大学男子 「いつも通り接してもらうのが一番」 大学男子 「社会の常識やお勤めの業界などについて話してあげると良いと思う。例えば初任給がこれくらいだったら良い方とか、財形貯蓄がどういうものかとか。社会人にとっては当たり前のことでも知らないこともあるので。」 大学女子 「本人がきちんと就活をしているなら、温かく見守っていてほしい。面接では客観的に見た自分を伝えなければいけないことが多いので、家族に長所や短所、自己PRなども一緒に考えてもらえるとても助かる。」 大学女子 「立て続けに選考に落ちた時は精神的に参っているの、そっとしておいてほしい。助言を沢山するというよりも、聞き役に回ってもらえると助かる。」 短大女子 「ただ『自信を持て！』と応援してくれるのが一番。」 短大女子 「金銭面の援助をしてもらえるとうれしい。就活で交通費、スーツ、証明写真代など出費がかさんでしまうので、休みがちなアルバイト代だけでは賄えないことがあった。親の援助はとてもありがたい。また人生の先輩としてアドバイスをもらったことも参考になった。」	学生
事前アンケートより 就活期間中に保護者に気を付けてもらいたい点は何ですか？	大学男子 「自分の子供が受ける企業のエゴサーチや批判はしないでほしい。」 大学男子 「就活に対する不安や愚痴などは就活仲間に話していると思うので、金銭的な援助や基本的な疑問を解決してもらう立場でいてほしい。無駄なアドバイスや焦らせる言動は避けた方が良いと思う。」 大学女子 「何社も受けて、受からない時とても辛い。自分という存在を全否定されている気分。家族にだけは『よく頑張っている』『次こそは大丈夫』など根拠はなくても励ましてほしい。」 大学女子 「兄弟姉妹や知人など、他人と比較しないでほしい。急かしすぎたり、親の願望を押し付けすぎないでほしい(口出ししすぎないでほしい)。」 短大女子 「子供の人生だからといってほっとくのは違うと思う。適度な干渉が必要。」 短大女子「過干渉や価値観の押し付けには気を付けてほしい。今と昔では時代が違う。就職先は本人が納得して決めることが重要。」	学生

就活を振り返って、後輩へアドバイスをお願いします。	大学男子 「健康第一なので、体調管理はしっかりしてほしい。」 大学男子 「インターンシップには複数回参加すべし！自己分析も進むし、選考に有利になる。」 大学女子 「早い段階から明るく元気に面接を受けていって無事内定をいただき、最後の大学生活を楽しんでもらいたい。」 大学女子 「まだいいやと思っているとあっという間に本格的に活動しなければいけない時期になってしまう。早め早めの行動を心掛けると良いと思う。また、何月頃何をするのか大まかで良いのでスケジュールを思い描いておくと思わすに済むと思う。」 短大女子 「就活なんてまだまだ先のことと思っているかもしれないけれど、学生生活や普段の生活の中で就活に活かせる点は沢山あるし、1つの経験がこれからどう繋がっていくのかわからない。なるべく多くのことを経験して、自身を持って就活に臨んでほしい。」 短大女子 「今自分が出来ることを精一杯やってほしい。学業を疎かにしないのはもちろんのこと、アルバイトやボランティアを経験するのも良いし、学内外の様々なプロジェクトに参加してとにかく経験を積んでほしい。そこで培ったものが就活での自己PRなどや就職後にも役に立つ時が来る。適度に力を抜いて、楽しく就活をしてほしい。」	学生
----------------------------------	--	-----------